

新春セミナー・行政講演・賀詞交歓会

本年1月30日にメルパーク東京にて、国土交通省 藤本真也様と厚生労働省 中田智幸様に講演をお願いし、新春セミナーが開催されました。新春セミナーの後は、多数の来賓・会員ご参加による交流促進を図って頂く場となる賀詞交歓会が開催されました。

新 春 セ ミ ナ ー

野崎正和会長より開講挨拶

毎年のように自然災害が発生し、昨年も豪雨、台風、地震などでかなりの被害を受けました。トンネル専門協会員の皆さんは非常に機動力があり、あちこちの現場で復旧工事に携わり昼夜活躍したと聞いております。また、国土強靱化、インフラ整備が必要で、国からの河川の補強、治水等の計画、リニアモーターカーなどの発注もたくさんあるようです。

我々の課題は担い手確保であり、今の時代はアニメが主流と考え、アニメの動画作製に挑戦しています。20代、30代の若手や、女性の委員も含め、学生が興味をもつような動画を目指しています。アニメはNHKで放映の『ピアノの森』を手掛けた会社をお願いしており、今までのイメージとは違ったアプローチをしていくつもりです。

働き方改革の問題では、有給休暇5日付与、休憩時間、稼働日数など様々な問題があります。トンネル工事は他とは違った働き方で、昼も夜も作業しております。今の働き方改革の時間、働く日数、等は積算に合っておらず、今の積算通りに仕事をやると全て法違反になってしまいます。これらのことも国交省、厚労省の方々に協会として意見を言い続けていきます。

また、坑内環境の問題が法改正により来年から変わります。厳しくなりますが、トンネルの環境を変えるチャンスだと考え、換気の方法、重機のキャビン付き、コンクリート吹付けのやり方や遠隔操作、機械化に取り組んでいきたいと考えます。絵に描いた餅ではなく実際に使える(案)を出すのは我々なのですから。



行 政 講 演



「建設キャリアアップシステムの能力評価制度等について」

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室 企画専門官

藤本 真也 様

はじめに“最近の建設業協会の現状”について解説があり、引き続き“建設技能者の能力評価制度”及び“働き方改革の推進”、“外国人材の受け入れ”等について資料に沿った詳細な解説がなされ、会場からの質問にも丁寧に解答して頂きました。



「建設業の人材確保・育成に向けた取り組みについて」

厚生労働省 職業安定局 雇用開発企画課 建設・港湾対策室 室長補佐 中田 智幸 様

はじめに“建設業が抱える課題とその解決策”について解説があり、引き続き“建設業の人材確保・育成に向けた厚生労働省の取り組み”や“令和2年度予算案における魅力ある職場づくり推進助成金及び働き方改革推進支援助成金等”に関する評価の説明がなされました。

国土交通省 大臣官房 技術審議官 東川 直正 様



トンネル無しでは道路は作れない訳で、皆さんがしっかりと現場で活躍されているおかげを持ちまして、日本の安全、公共事業が成り立っています。なかなか人口も増えない中、労働者の確保は大変で、これまで労務費単価を7年連続で上げたり、他にも何らかの良策があればと思っております。新・担い手3法が昨年成立しましたが、国に限らず地方団体を含め、建設業の中でダンピングが起きないように発注者が責任をもつという指針を本日、関係省庁で合意してきました。この指針に基づき、各発注者や建設業の元請けはいうまでもなく、下請け、労働者にいたるまで、適切に賃金が支払われるようにしていきたいと思っております。

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 環境改善室長 安井省侍郎 様



野崎会長にもご参加頂き、検討会を行ってきましたトンネルの切羽の作業環境の改善の報告がようやくまとまり、本日、公表させて頂きました。具体的には従来は切羽から50mの箇所ですと測るところを、測定件数を増やして20mから50mの間に6点測点を置くとか、分流装置というのですが細かい粒子だけを計る測定器を使ったり、幾つか様々な技術の工夫をこらして、切羽の測定がきちんとできるようにしたいというのが一点です。もう一つは管理レベル、目標レベルが3mg/m³という粉じん濃度レベルを2mg/m³に下げたという点です。その数字をきちんと計り、それに見合った呼吸用保護具を使って測定結果を踏まえたマスクの選定をして頂くことで、従来は電動ファン付きなら何でも良かったのが、これからは等級にも気を付けて頂くこととなります。そして措置を円滑に実施するよう、ずい道等の掘削作業主任者の職務を改善し、測定やマスクの選定について項目、技能、講習を追加し、作業主任者の指揮のもとで粉じん対策を講じていくこととなります。現在検討しておりますスケジュールでは令和3年4月1日に施行を予定しておりますが、作業主任者については1年間猶予する形で進めていきたいと思っておりますのでご協力願います。

一般財団法人 建設業振興基金 理事長 佐々木 基 様



トンネル工事がどのように行われているか一般の人達にはなかなか分からないし、車に乗ってトンネルに入るとあっという間に通り過ぎてしまいます。そのため、このトンネル工事の現場でどういう人が働いていたかということに思いを馳せることはなかなかありません。しかし、日本全国に熱烈なトンネルマニアがいるようで、恐らく全国で初だと思いますが、長野県の建設協会で長野県の峠のトンネルカードを作ったところ、好評とのこと。アンケートで高校生に建設業のイメージについて聞いたところ、現場の見学会や出前講座に参加する、またはインターシップに参加する等で建設業に触れたことがある人と、全くそのような経験がない人とは大きな違いがあったそうです。建設業に触れたことのない高校生は、昔でいう3K「きつい」「きたない」「危険」というイメージを持っています。しかし、建設業に対して若干でも触れたことがある高校生は、後世に残せるものが作れる、常にやりがいのある仕事、自分の作ったものが残る、社会に貢献している等、プラスのイメージを持っているようで、トンネル工事の仕事について知ってもらうのが大事だと思います。冒頭、会長がおっしゃったアニメ作成は、皆さんに見て貰うという点でとても良い試みだと思っております。

一般社団法人 日本建設業連合会 安全委員長 乗京 正弘 様



国民生活の安心、安全を担う建設産業において、工事に伴う安全と環境の確保は不可欠です。粉じん障害に関しましては、トンネル専門工事業協会様と一緒に毎年10月に現場パトロールを実施しております。トンネル建設工事で働く方々がじん肺症に罹患しないために、こうした地道な活動を継続することが粉じん低減対策措置の徹底に繋がるものと思っております。また働き方改革推進のために、日建連では担い手確保に向けて策定しました週休二日実現行動計画や、時間外労働の適正化に向けた自主規制を着実に進めております。さらに、建設キャリアアップシステムの普及推進にも力を注いでおります。建設業界が直面している様々な課題について、今後も貴協会と共に手を携えながら解決に向けた取り組みを行っていくつもりです。

海外視察研修会

マレーシアの首都クアラルンプールでは、国の一大プロジェクトとして交通渋滞緩和を図るための大量輸送システム・MRT工事が推進中です。令和2年2月9日～14日に、会員企業からの参加者総勢25名により上記工事の進捗視察（外観からの視察）及びクアラルンプール郊外にある渋滞緩和と洪水対策の両面機能を持つ「SMARTトンネル～2007建設」等を視察しました。



視察地1：クアラルンプールの都市開発一大プロジェクト

地下鉄2号線工事（外観視察）クアラルンプールの北西にあるスガイ・フローと官庁街の南にあるプトラジャヤを結ぶ52.2kmのうち13.5kmが地下路線です。

SMARTトンネル（開業2007年7月）

道路と排水専用の3層構造で、大雨時は道路を閉鎖して水を取込み排水しています。
行政の都市開発セクション

視察地2：ペナン島

- ① 世界遺産ジョージタウン
- ② 極楽寺

視察地3：クアラルンプール市内・郊外

- ① 新王宮、国家記念碑、国立モスクなど
- ② ハツー洞窟、ピューター工場など



スマートトンネル模型解説

令和元年度 委員会活動成果報告

○ 組織広報委員会

主に若年者を対象としたトンネルあるあるアニメ『知ってる？トンネル』（約7分）を制作し、リクルート活動の一助とすべくDVDを会員に配布すると共に協会専用YouTubeチャンネルにも掲載しました。

YouTube チャンネル

<https://bit.ly/37z56uU>



Instagram

<https://bit.ly/37vogBQ>



是非、登録、フォローをよろしくお願いします。

○ 労務安全衛生委員会

トンネル工事に特化した安全対策好事例（見える化）を調査・収集し47件の好事例を冊子に取りまとめ会員企業へ水平展開しました。

○ 技術・情報委員会

- ① 建設キャリアアップシステムにおける能力評価基準について、国交省の認定を受けた後、令和2年4月からの運用開始に向け能力評価制度実施マニュアルを作成し会員に配布しました。
- ② 「年次有給休暇5日付与に関する対策」について、アンケート調査結果を基に意見交換会を行った上で協力統一見解を策定し会員企業に周知しました。

○ 施工環境委員会

現在、トンネル施工機械現場管理委員研修で活用しているトンネル施工機械4機種の点検整備等に関するDVDに、今回新たにブレーカ、重ダンプ、クラッシャ・ベルトコンベヤの3機種を追加したDVD改訂版（約41分）を作成しました。

会 員 ト ピ ッ ク ス

寿建設㈱



寿建設の森崎英五朗社長が、建設通信新聞に掲載されました。森崎社長は会社経営の一方、建設業の担い手不足を嘆く声には「まずは建設業の魅力、やりがいを知ってもらうこと」と強調され、自ら先頭に立ち、画期的な手法で社会へのアピールが続けられています。さらにゲーム感覚で重機操作を体験できる『重機でGO』の発案、トンネル開通記念のドローン撮影動画配信など、従来の形式にこだわらないアプローチで建設業の広報・普及活動に対する取り組みも行っています。すべては「建設業界に人を引きつけるための手段」と位置付け、持ち前のサービス精神から「面白さ」を追求されています。協会で開催したInstagramやYouTubeチャンネルも、森崎社長にご協力いただきました。

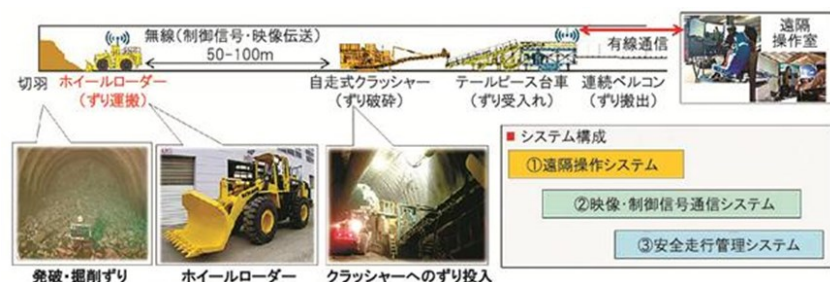
サンドビック

戸田建設とサンドビックSMRTカンパニーは、日本の山岳トンネル施工に適したロックボルト自動打設機『ロボルト』を開発しました。ロボルトは本体にモルタル供給装置を搭載し一体化したことで合理的なロックボルト自動打設ができる特徴があり、国内の山岳トンネルでの仕様・規格や施工管理基準を満たしつつ効率的な施工が可能になります。システム導入にて、作業員の切羽下での作業や重量物を扱う作業からの解放と、作業員を削減し省力化を目指します。



宇治田原トンネル東工事における
ロボルト施工状況

株カナモト



西松建設は、カナモト、ジオマシニングエンジニアリング(東京都荒川区、塚田純一社長)と共同で山岳トンネル掘削時に切羽近傍のずり運搬に使用するホイールローダーの遠隔操作システム「Tunnel RemOS-WL(トンネルリモス-WL)」を開発しました。ホイールローダーの走行やバケット操作とい

った坑内のずり運搬作業に必要な運転動作を、車体に設置した複数のカメラ映像を見ながら、ほぼ遅れなく無線で遠隔操作できるというもの。遠隔操作技術はトンネル掘削に使用する他の重機にも応用可能で、今回の開発を足掛かりにトンネル工事の無人化施工の実現に向けて取り組みを加速させます。

エフティーエス

全部で8製品がNETIS登録済みで、そのうち2製品が末尾[-VE]を取得しています。末尾[-VE]になることで通常は5年のところ、10年間NETISに登録されます。

- ① 透気試験機: パーマトルACは、完全非破壊で表層コンクリートの透気性能を測定可能です。
 - ② アスファルト舗装密度測定器: PaveTracker(ペイブトラッカー)は、測定個所に当てるだけで簡単にアスファルト密度が測定可能です。重さは5kgと軽量で、片手で操作・持ち運びも可能です。
- その他、トンネル地質調査や切羽肌落ちモニタリングシステム等の魅力的な製品も数多く取り扱っています。

協会からのお知らせ【今後の予定】

- ・令和2年度第1回登録トンネル基幹技能者講習(富士教育訓練センター)
- ・令和2年度秋季セミナー・懇親会

令和2年7月16日～19日
令和2年9月17日

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors

日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150

FAX:03-3591-3550

URL: <http://www.tonnel.jp>